国民年金保険料納付書を送付

国民年金保険料が、四月から引き上げられました‖表1‖。改定後の納付書を十六日にお送りしますので、納期限までに納めてください。

（表1）　国民年金保険料の改定

区　分	改定前	改定後
定　額（1カ月分）	9,700円	10,500円
定額・付加（1カ月分）	10,100円	10,900円

保険料の前納割引や納付免除制度も

前納割引制度　保険料を一年分まとめて四月中に前払いすると、納付額が割り引きになりお得です‖表2‖。

納付免除制度　国民年金の第一号被保険者（学生や自営業などの人）で、経済的な理由により保険料を納付することが困難な場合、一定期間、保険料納付の免除が受けられる制度です。希望する人は五月末までに申請手続きをすると、四月から免除を受けられます。

（表2）　毎月納付と前納との納付額比較

区　分	毎月納付	前　納	差　額
定　額（年額）	126,000円	122,960円	3,040円
定額・付加（年額）	130,800円	127,640円	3,160円

就職したら届け出を

国民年金は二十歳以上の学生や自営業者などの人が強制加入となっており、第一号被保険者として加入します。その後、就職して厚生年金や共済組合に加入すると、第二号被保険者になります。この場合、第一号から第二号に種別が変わるので種別変更の届け出が必要です。

サラリーマンの奥さんも届け出が必要

厚生年金や共済組合の加入者に扶養されている配偶者（妻または夫）は、第三号被保険者に該当しますので同じく届け出が必要です。また、扶養している人が退職や再就職したときも届け出をしなければなりません。届け出をしないと将来年金を受けられなくなる場合があります。忘れずに手続きをしてください。

年金額が引き上げに

六割引き上げられました。

問い合わせ　国民年金課、地区事務所、坂井輪・鳥屋野・石山連絡所へ

新潟市史 資料編4と6を刊行

既刊もどうぞ

郷土・新潟の歴史の集大成
「新潟市史」、どうぞお買求め下さい

市制百周年を記念して刊行が進められている「新潟市史」の、資料編4（近世Ⅲ）と同6（近代Ⅱ）が、あす十二日から、市内の書店で発売されます。

資料編4（近世Ⅲ）　四千円。江戸時代、主に新潟西地区の領主支配の仕組み、災害、人々の生活、文化などに関する史料二百七十点を収録

資料編6（近代Ⅱ）　四千円。明治中期から大正中期の新潟とその時代を生きた人々に関する史料三百十点を収録

新潟市史は全二十巻。新潟市の歴史をわかりやすく解説した「図説新潟市史」、海や動植物など新潟の自然を美しい写真で紹介した「資料編十二（自然）」など、オールカラーの既刊も好評です。新刊と併せて、どうぞお求めください。

問い合わせ　市史編さん課（☎内線2252番）へ

就学援助の申請は4月30日までに

市では、経済的理由で就学困難な児童生徒の保護者に、小・中学校の費用（学用品の購入費、修学旅行費、給食費、医療費など）の一部を補助しています。

本年度分の就学援助の受け付けを、四月三十日まで各学校で行いますので、希望する人は申請してください。

補助を受けられる家庭は…　所得が市の定める基準以下の家庭です‖表‖。生活保護を受けている家庭の申請は必要ありません。

申請の方法は…　各学校に備え付けの就学援助申請書に必要事項を記入し、前年の所得を証明する書類を添付して提出してください。詳しくは四月上旬に学校を通じて配布した「お知らせ」をご覧ください。なお、所得を証明する書類を添付できない人は取りあえず申請書を四月三十日までに提出してください。

問い合わせ　学事課（☎内線3224番）へ

市の定める基準（家族構成と所得制限の例）

家族	家族構成など	所得制限
6人	父　35歳　母　33歳 小学1年　幼稚園児4歳 祖父64歳　祖母61歳	422万円程度以下
5人	父　37歳　母　35歳 小学4年　小学1年 幼児2歳	370万円程度以下
4人	父　35歳　母　33歳 小学1年　幼稚園児4歳	313万円程度以下
3人	母　32歳 小学1年　幼稚園児4歳	283万円程度以下

※上の表は、あくまで一例です。所得制限額は、その世帯の家族構成、年齢、家賃の有無などによって異なります。

所得制限でいう「所得」とは、平成4年1月から12月までの家族全員の合計所得のことです。4年分源泉徴収票をお持ちの人は「給与所得控除後の金額」を目安にしてください。

町内活動を応援

市子ども連絡協議会

市子ども連絡協議会では、子どもたちの町内活動を応援しています。会員になると見舞い金・賠償金保険制度に加入できるほか、情報を満載した「市子連だより」が届けられます。

同会の会費は大人二百円、子ども百五十円。内容など詳しくは、表の説明会へどうぞ。

問い合わせ　事務局（社会教育課☎内線3255番）へ

日程（会場は各公民館）

日	時間	
4・19	午前10時～11時半	石山地区
4・20		坂井輪地区
4・21		中央、東地区
4・22		曽野木地区、北地区
4・23		鳥屋野地区、中地区
4・19	午後7時～8時半	石山地区、西地区
4・20		坂井輪地区
4・21		中央、東地区
4・22		曽野木地区、北地区
4・23		鳥屋野地区、中地区

平成4年分所得証明書の発行は6月16日から

ただし、給与から市・県民税を全額差し引かれている人は5月12日から発行します。

問い合わせ　市民税課（☎内線2327番）、地区事務所、出張所へ

※連絡所では発行しません

紳士録・人名録を販売する

悪質な業者にご注意

市消費者生活センターに、最近地位や名誉につけこんだ紳士録や人名録を販売する業者のトラブルの相談が増えています。お困りの人は気軽にご相談ください。

相談先　同センター（☎228－8100）へ

4月からの新設課

市では4月1日から下表の課およびプロジェクトチームを設置しています。

課名	場所
市民文化会館整備課	第2分館2階
総合計画策定プロジェクトチーム（総合調整課内）	本館5階
合併問題調査検討プロジェクトチーム（企画課内）	
市場計画プロジェクトチーム（農林課内）	第1分館2階

親が子に伝える体験学習

期日　4月24・25日（1泊2日）

会場　県青少年研修センター（西蒲原郡巻町）

内容　コース別研修（サイクリング、登山、ハイキング）、野外炊事、ほか

定員　先着70人　**参加費**　2,600円

申し込み　会場（☎0256－77－2111）へ

くらしの一日教室

日時　4月21日午前10時～正午

会場　市役所本館6階講堂

内容　正しいクリーニングの利用法

定員　先着60人

申し込み　あす12日から市消費生活センター（☎内線2414番）へ

育児相談

4月13日から新たに、市民相談室でも育児相談を開始します。

日時　4月13日からの毎週火・木曜日午前9時～午後4時　**担当**　元保育園長

問い合わせ　市民相談室（☎内線2068番）へ

女性センター

女性労働問題相談室

日時　毎月第2・3土曜日午後2時～4時

内容　就職、職場での男女均等、ほか

問い合わせ　同センター（☎246－7713）へ

手作り商品の一坪店出店者募集

日時　5月2日午前10時～午後5時

会場　たから市会場内（本町通12）

出店料　売上金の10%（ワゴンの貸し出しは1,000円）

申し込み　4月20日までにホクセイマート（☎228－5757）へ

※出店料の純益は社会福祉団体へ寄付

保健婦による健康相談

基本健康診査の受診記録票、健康手帳のある人はお持ちください。

地区	月日	会場	時間
両川	4・16	花の牧公会堂	午前10時～正午 午後1時～3時
曽野木	4・14	曽野木地区保健センター	
内野	4・14	上新町集会所	
坂井輪	4・13	老人憩いの家・小針荘	
南浜	4・15	白勢町自治会館	
松浜	4・12	老人憩いの家・寿楽園	午後1時半～3時
入舟	4・15	入舟地区保健センター	
石山 大江山	4・12	※石山地区保健センター	午前10時～11時半

※印は栄養士による相談あり

はかり定期検査

会場	期日	検査対象区域
本町市場	4・19	本町通5・6、本町通5・6の露店市場 本町中央市場商店街
白山小	4・20	古町通1～5、一番堀通町、東堀前通1～5、東堀通1～5、堺一番町、西堀通1～4、西堀前通1～5、本町通1～4、上大川前通1～5、川端町
浜浦小	4・21	開屋松波町、開屋金衛町、開屋昭和町1、浜浦町、信濃町、立宮町、汐見台
有明台小	4・22	開屋浜松町、浜生町、有明大橋町、開屋寄町、開屋大川前、開神明、有明台、堀割町、浦山、青山4～6、開屋湖畔町

受付時間　午前10時～午後3時

問い合わせ　市消費生活センター（☎内線2413番）へ

子どもの食事講習会

対象　1～3歳児の母親または保育者

定員　各先着30人

持ち物　母子健康手帳、エプロン、三角布、試食費300円（西保健所会場は子ども用歯ブラシ）

申し込み　電話で会場へ

月日	会場	内容	時間
4・21	東保健所	「これなら食べる」野菜料理	午前10時～午後零時半
4・16	西保健所	手作りおやつを見直そう	午前9時半～正午

木戸地区育児講習会

日時　4月21日午後1時10分～20分受付

会場　木戸公民館　**持ち物**　母子健康手帳

内容　体重測定、小児科医の話、ほか

対象　木戸地区で生後6～7カ月の第1子と母親15組

申し込み　電話で東保健所へ

新潟スポーツ医学研究会

日時　4月24日午後1時半～

会場　新大医学部第4講義室

内容　講演「健やかな心と体をはぐくむ食事とは」県立新潟女子短大教授・山田雅子さん、スポーツ医事相談

申し込み　古賀さん（火・金曜☎232－0111内線585番）へ